

金属労協第 51 回定期大会

海外来賓挨拶（要旨）

インダストリアル・グローバルユニオン書記長

ユルキ・ライナ

金属労協第 51 回定期大会で心からの連帯のご挨拶をさせていただけることは、私にとって大きな喜びであり、大変名誉なことです。とりわけ、インダストリアル・グローバルユニオンの名においてご挨拶できることを嬉しく思います。インダストリアルは、IMF、ICEM および ITGLWF が統合した結果、本年 6 月にデンマークのコペンハーゲンで結成された新しい主要組織です。

インダストリアルは戦略上重要なサプライチェーンを通して、140 カ国の鉱業・エネルギー・製造業部門で 5,000 万人の労働者をまとめ上げています。この統一によって、国境なき世界で、これまで以上に協力する必要のある世界で前途に横たわる大きな課題に取り組むために、より大きな力を得て、さらに団結を固めることができます。

このように今後は明るい展望が開けていますが、統合までの道のりは平坦ではありませんでした。新しいものを生み出すのは容易ではありません。インダストリアル結成大会に出席なさった方々はご存じのように、政治的目標に関しては大きな意見の不一致がありませんでした。問題は、誰もが新組織の執行委員会に加わりたがったことでした。

この場をお借りして、皆様の素晴らしい指導者である西原浩一郎氏の優れたリーダーシップに感謝したいと思います。西原議長を中心とする金属労協のご支援がなければ、この大きな一歩を踏み出すことはできなかったでしょう。加えて、日本の金属労協およびその加盟産別・単組は過去数年間、具体的な国際連帯を構築するにあたって、世界各地で発生した問題を解決するにあたって積極的な役割を果たし、円満な労使関係を促進してきました。今後もこれまで同様に活動を続けてください！ 西原議長はコペンハーゲンでのアジア・太平洋地域会議でインダストリアルのアジア太平洋地域議長にも選出されました。今後とも積極的なご協力をお願いいたします。

新しいインダストリアル・ファミリーの団結力は、アクション・プランに定める重要な目標の達成に向けた行動を構築するうえで、確固たる基盤になるでしょう。そのうち 3 つの目標だけを挙げておきましょう。

第 1 に、組織化とより強力な組合の構築です。組合員数を増やして力を強化する必要があります。不安定労働者も含めて、すべての労働者を組織化する必要があります。

第 2 に、労働組合権です。すべての労働者が自ら選んだ組合に加入し、労働協約の保護を享受する権利を持てるよう確保する必要があります。政府や企業によるあらゆる侵害に対応する必要があります。

第3に、人を最優先する新しい経済・社会モデルを求める闘いです。政治的意思決定者に圧力を加え、不安定雇用ではなく質の高い雇用の創出への投資、金融投機ではなく製造業の成長、全市民のための包括的な社会的保護を求める必要があります。

日本はグローバル経済の主演であり、日本企業はインダストリアルが代表する多くの産業部門で突出しています。皆様方は世界中の労働者が労働組合に加入できるよう援助したり、日本企業で組合活動家をネットワークに統合したりするうえで、重要な役割を担っています。

インダストリアルは40本のグローバル枠組み協約を締結しており、これらの協約はフォルクスワーゲンやフォード・モーター・カンパニーをはじめとする主要企業の労働者数百万人を対象としています。日本企業はミズノだけです。互いに切磋琢磨して締約企業を増やしてください——次ほどの会社でしょうか。これらの協約は円満な労使関係を築いたり、問題が発生したときに解決したりするための手段になります。さらに努力すれば、他のアジア太平洋諸国の企業と協約を結ぶこともできます。

具体的なグローバル連帯を構築するうえで、皆様のご支援を頼りにしています。大会のご成功、そして日本、アジア太平洋地域および世界における皆様の貴重な活動のご成功をお祈りします。

どうもありがとうございます！